



<主な内容>

会長あいさつ、関ブロ実行委員長あいさつ	… 1
研修会並びに総会レポート、お知らせ	… 2
退任、新任あいさつ、専門部紹介	… 3
事務局紹介、あとがき	… 4

栃事研HP <http://tochijiken.org/>



会長あいさつ

栃事研会長 岡崎 信二

5月25日の総会におきまして再任をご承認いただきました。2期目に入りますが引き続き会長という重責を担うことになりました。歴代会長のご尽力のもと、着実に発展、成長を遂げてきました栃事研も51年目に入ります。私の力量では全てを担い切れるものではありません。会員の皆様お一人お一人のご支援、ご協力をいただきながら各種事業を推進し、これからの栃事研の基盤づくりを目指したいと思っております。総力を挙げて取り組みますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、東日本大震災の爪痕も消えない中、5月には栃木県東部地区を巨大竜巻が襲いました。被災なされた皆様には改めまして心よりお見舞い申し上げます。新年度当初より、自然災害はもとより子どもが巻き込まれる事件事故が多発し、今ほど、安全安心そして防災という言葉が重く感じられるときはありません。一刻も早い行政・学校・地域が一体となつての安全安心な学校づくりに向けた対応が求められています。教育活動支援や教育環境整備を中心的業務とする学校事務分野においては、これら課題解決に向け、その役割や機能の発揮が期待されています。

一方では、新しい教育課程に基づく教育が完全実施になりました。子どもの学びづくりに参画していく、学校事務観を変えていく、絶好の機会になると思います。ぜひ皆様とともに、力を合わせて「とちぎの学校事務」創造に向け取り組んでいきましょう。明確な目標設定、確実な実践と組織的な支援により必ず実現できると思います。従来のスタイルから、意識の問題から抜け出せたとき学校に不可欠な職としての未来があるのです。全県的な実践の拡がりにより「変わるとちぎ」「行動するとちぎ」を皆様と共に実感したいと思えます。

栃事研では、本年度、「分かりやすさ」「具体性」をテーマに諸活動に取り組んでいきたいと考えております。新たな50年へ向けての始まりの年。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



第43回関東地区学校事務研究大会（栃木大会）を終えて

実行委員長 樋口 良広

第43回関東地区学校事務研究大会（栃木大会）並びに創立50周年記念栃木県公立小中学校学校事務研究大会は、平成24年1月26日、27日の両日、宇都宮市文化会館を主会場に関東各都県をはじめ全国各地から1,420名という多くの皆様のご参加をいただきまして、盛会裡に終了することができま

した。これもひとえに、2年半という長期にわたり準備に携わっていただきました実行委員会の皆様はじめ、栃事研会員の皆様方及び関事協各支部の皆様方のご支援ご協力によるものと改めて感謝申し上げます。

また、今大会の開催にあたりまして文部科学省、栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会のご後援をはじめ、関係諸機関、諸団体の皆様方のご指導、ご支援を賜りました。若干、開会行事の時間が延びてご参加の皆様方にはご迷惑をお掛けしてしまいましたが、これも私ども栃事研活動へのご理解の証であると考えておりますので、ご了承いただければ幸いです。

今回の関ブロ（栃木大会）は、私ども栃事研においては、創立50周年という大きな節目の大会でもありました。学校事務職員としての日頃の研究成果を発表・報告するだけでなく、今後の栃事研、関事協の方向性を内外にアピールするための「栃木大会アピール」や「50周年記念シンポジウム」の時間を設定させていただきました。この大会で得られました知識や経験を生かし、今後、担っていかなければならない役割等について是非、再認識していただきまして、子どもたちの未来のために、学校事務の未来のために、各自が「実行宣言」していただければと考えております。

大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

平成24年度栃事研研修会並びに総会

平成24年5月25日(金)、平成24年度栃事研研修会並びに総会が宇都宮市文化会館小ホールにおいて開催されました。

総会では昨年度の事業報告、決算報告及び本年度の事業計画、予算案についてご審議いただき、つつがなく承認されました。役員改選では、高橋副会長が退任され、後任として伊藤副会長が就任しました。

総会後には、今年1月に開催された関ブロ栃木大会の報告が樋口実行委員長からあり、昨年度50周年を迎えた栃事研のこれまでの活動の経緯をスライドにより振り返りました。



引き続き行われた講演会では、全事研研究開発部長の阿部貴子氏による「学校経営戦略実現に向けたミドルリーダーの役割」という演題で講演があり、校長の描く学校経営ビジョン実現のために主体性をもって取り組んでいくことの重要性についてわかりやすくご説明いただきました。

その後、「とちぎの学校事務ビジョン」について吉田副会長から説明があり、最後に益子副会長から「研修の体系化に向けた取組」について説明がありました。

8月 2日(木)	全国公立小中学校事務研究大会	茨城県つくば市
8月10日(金)	新加入会員等研修会	宇都宮市 学校生協会館
8月20日(月)	栃事研交流事業球技大会	宇都宮市立河内中学校
8月21日(火)	栃事研セミナー	宇都宮市 パルティ
10月26日(金)	学校組織マネジメント研修 (10年~19年目対象)	未定
11月29日(木)	学校事務研究大会	宇都宮市文化会館

栃事研 からの お知らせ



退任のごあいさつ

前副会長 宇都宮市立晃陽中学校 高橋純子

「あなたは、あなたが食べたもので、できている。」

というCMを耳にし、「私は、私が栃事研を通して味わった“想い”で、できている。」ような気がしています。振り返ると、栃事研の中で、学校事務職員としての生き方を教わってきました。仕事のノウハウも、学校事務という概念も、学校組織において全体を見る眼を持つということも。全国大会主管や3度の関ブロ大会主管（3度・・・というところに栃事研人生の長さが現れてるな・・・）にかかわれたことも忘れがたい経験です。特に、2度目の関ブロ大会は、事務局次長として、人と人をつなぐことの難しさや喜びや成就感を味わうことができました。

副会長として、栃事研への恩返しや次代に想いを伝えることができたのか不安ではありますが、栃事研とこれまで支えてくださった皆様に心からの感謝をお伝えして、退任のあいさつといたします。長い間、お世話になりました。

新任のごあいさつ

副会長 宇都宮市立河内中学校 伊藤久乃

この度、副会長に選出いただきました伊藤です。栃事研には昨年度まで10年間理事として、さらに関東地区学校事務研究大会の副実行委員長として係わらせていただきました。

昨年度は50周年という大きな節目を迎えた栃事研ですが、平成24年度は次のステップへの新たなスタートの年になります。今回執行部の一員として深く研究会活動に携わることになり、身の引き締まる思いで一杯です。事務職員を取り巻く課題に向かって、私のモットーである「明るく・楽しく・元気」に取り組んでいきたいと思っています。

どれだけ皆様の役に立てるか不安ではありますが、精一杯努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。



栃事研専門部の紹介



研修部は、目指す事務職員像に迫るため、研修会の企画、研修の体系化を進めています。

主な活動は、

- 1 研修会の企画（栃事研セミナー、学校組織マネジメント研修、研究大会（研究部と連携））
- 2 研修の体系化の検討（研修システムの提案、それに基づく研修の企画・運営、その研修の検証及び研修システムへの反映）
- 3 石川大会分科会への参画（研修の体系化提案発表及び分科会運営諸準備）です。

より具体的な内容の提供と会員の皆様がその成果を実感できること、そして学校現場に還元できることを目指し、支部・市町との連携強化を図っていきたいと思います。会員の皆様のご指導とご支援をよろしくお願いたします。



研究部は、引きつづき学校事務職員の未来像を追究していきます。関ブロ栃木大会で描いた事務職員像や新たな領域に向かって「実践」「行動」する事務職員のあり方をさらに深めていきます。また、とちぎ学校事務ビジョンで示す三つの課題のうちの一つ「経営参画」の具現化、可視化を図ります。

研究部担当の吉田副会長とともに、新たなメンバーも加わった8名で「とちぎの学校事務」創造に向け研究を深めていきたいと考えております。まずは11月の研究大会の成功に向け、企画・運営に取り組んでいます。新たな歩みを始めた研究部にご指導・ご協力をお願いします。



調査部は「学校事務研究資料'12」の発行に向けて頑張ります。

アンケートや各種調査などで、会員の皆様をお願いすることもたくさんあると思います。その大切な資料・正確なデータを提供し、会員の皆様、支部・市町を含めた研究・研修活動の充実支援に活用していただけるよう心を込めて作成します。どうぞよろしくをお願いします。



栃事研事務局の紹介

最初に、平成23年度関ブロ栃木大会、栃事研創立50周年記念研修会に際しましては、皆様会員の方々の多くのご協力をいただき、盛会裡に開催できましたことに深く感謝いたします。

私たち事務局のメンバーも関東地区の大会運営、そして記念すべき50周年記念事業を経験することが出来ました。今年度の活動にはますます自信を持って、例年の事業にさらに磨きをかけた企画運営をし、栃事研そして事務職員にとっての、新しい51年目を築き上げるため、会員の皆様に役立つ様々な研修会などを行っていきます。ぜひ、多くの方々に参加していただき、一緒に子どもたちの豊かな育ちを支援できる学校事務を確立していきましょう。

総務部は「とちぎの学校事務（栃事研概要）」の作成、理事会・新加入会員等研修会・研究大会等の企画運営、関係諸機関・諸団体との連絡調整などを行っています。新部員1名を迎え、関ブロ栃木大会の運営で培った『チーム力』をさらにパワーアップさせて、円滑で効率的な会の運営に努めていきます。

表立った活動ではないので地味なイメージがあるかもしれませんが、部員は皆『明るく、元気に、楽しく』活動しています。皆様のご支援・ご指導よろしくお願いします。

財務部は、栃事研会員からお預かりした大切な会費を本会諸事業の円滑な実施のため、効率的に執行することを職務としています。また、会員相互扶助と共栄を目指した慶弔会計を執行します。前年度は、関ブロ大会において大会予算の立案執行にも携わりました。財務部での苦勞する点は、研究大会等での予算計画時に講師によって謝金・旅費・宿泊費が変わり、会場が何処かで無償有償など経費が大きく変わる事等です。会員のための栃事研諸活動を支援できる財務部を目指しています。

広報部は、会報の作成をはじめ、栃事研HPの管理など広報活動の充実を図っています。特に、栃事研HPでは、会員の皆様の様々なニーズに応えるべく、日々の業務に役立つ各種データや会員の皆様から提供いただいた便利な事務処理プログラムを公開していますので、ぜひご覧ください。また、事務処理プログラムや事務だよりなどのデータを募集しています。一つのプログラムが多くの会員を支援することになりますので、皆様のご協力をお願いします。ご提供いただける場合は、hp@tochijiken.orgまで送信ください。

編集後記

広報部では、今年度も会報の発行を年2回予定しています。会員の皆様に興味をもって読んでいただけるような紙面の作成に努めていきたいと思っております。

